

財政破たん・環境破壊 北陸新幹線延伸は もはや不可能

在来線の強化や公共交通の充実こそ

長大なトンネル区間では地下水の枯渇が懸念されていますが、実際に、新名神高速道路の宇治田原トンネル工事では河川や井戸の水枯れが起こっています。京都のどこでもリニア新幹線の工事と同様の事態が起こらないとは限りません。

また、3300億円とも指摘されている京都府の負担（京都民報9/1号）について府は明らかにせず、突如示された久御山町の巨大車両基地についても地元説明はありません。

自治体財政を破壊する北陸新幹線延伸は中止し、在来線やバス路線など地域公共交通の拡充を優先すべきです。

▶リニア工事水枯れ調査 (8/5)



井戸やため池の水が枯れた(岐阜県瑞浪市)

リニア中央新幹線の地下掘削で農業用水が干上がり、400年続く集落の存続にかかわる深刻な事態が発生しています。

▶新たに発表された北陸新幹線延伸3ルート案

| | 東西案 | 南北案 | 桂川案 |
|-----|-------|-------|-------|
| 工期 | 28年 | 25年 | 26年 |
| 建設費 | 5.3兆円 | 5.2兆円 | 4.8兆円 |

※国交省の資料より作成。

専門家からは、難工事のため更なる工期と費用が必要との指摘も。

一旦撤回・再検討求める 京都アリーナ (仮称)

「考える会」署名7千筆超 (11/15現在)

3月に向日町競輪場余剰地でのアリーナ建設を府が表明して以降、住民の間で交通問題などへの不安が広がっています。11月には「向日町競輪場再整備とアリーナ問題を考える会」が計画の再検討を求める署名を府に提出されます。向日市のアンケート (右表) でも交通問題が多くの方の市民の心配事になっています。

しかし、知事は府道整備について「(現計画以上の) 必要が生じるか検討したい」との立場にとどまっています。党議員団は市民のみさんの運動を力に、さらに知事に迫っていきます。



アリーナ建設予定地のアクセス道路。歩道幅が80cmしかないところも

整備にあたって (複数回答、上位4項目) 不安なことはありますか

- ▶交通渋滞 (3175) **88%**
- ▶ポイ捨てなど
来場者のマナー (2401) **67%**
- ▶駅周辺の混雑 (2261) **63%**
- ▶歩行者の安全 (2208) **61%**

向日市LINEアンケート調査結果(回答数3583人)より



島田けい子(京都市右京区)

議員団長、文化生活・教育常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



みつなが敦彦(京都市左京区)

議員団幹事長、危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



浜田よしゆき(京都市北区)

議員団副団長、農工商労働常任委員、子育て環境の充実に関する特別委員会



さこ祐仁(京都市上京区)

政策環境建設常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会



成宮まり子(京都市西京区)

総務・警察常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



ばばこうへい(京都市伏見区)

総務・警察常任委員会、新技術と社会づくりに関する特別委員会



水谷修(宇治市・久御山町)

政策環境建設常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会



森よしはる(京都市南区)

農工商労働常任委員会、安心・安全な暮らしに関する特別委員会



田中ふじこ(京都市中京区)

文化生活・教育常任委員会、子育て環境の充実に関する特別委員会